



外国出張報告書

平成 27 年 3 月 30 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 26 年 12 月～平成 27 年 2 月
3. 出張目的 持続的な商品畑作物生産のための肥培管理技術の開発：C

4. 成果の概要

ラオスにおけるトウモロコシの主要産地であるサイニャブリ県ケンタオ郡の 2 村において、27 農家圃場を対象に、それぞれ 3 区画を設定し、トウモロコシの生育状況の把握と収量調査を行った。収量は圃場内・圃場間とも大きな差が認められた。作物の養分状態と土壌特性を把握するため、作物体及び土壌の分析を行ったが、その関係は弱かった。一部の圃場で、高い礫含量が生産性に関係していることが考えられた。また、別の 1 村において、キャッサバの収量調査を 84 地点で行った。収量は地点間で差が大きかった。地上部と地下部の生育の関係は必ずしも一致しなかった。今後、キャッサバ収量の制限要因について解析を行っていく予定である。